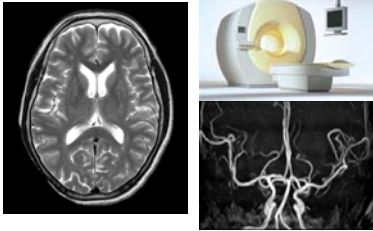


当院検査機器の紹介

定期的に検査をしましょう！

《MRI・MRA》



MRIを用いた検査で最も中心となるのが、頭の内部を磁気を用いて輪切りにして画像を得る検査です。

脳梗塞や脳出血、心筋梗塞。どんなに良い治療法が見つかって、やはり一番重要なことは早期発見、早期治療です。

MRIを用いた検査では、脳梗塞や脳出血はもちろんの事、まだ症状の出していない無症候性脳梗塞までも発見ができ、血管像を見るMRA検査は動脈硬化や脳梗塞の原因となる血管の閉塞や狭窄を発見する事が可能です。

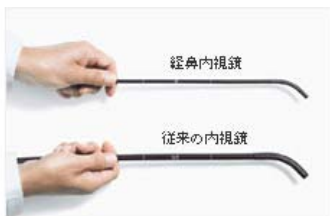
MRI,MRA検査は痛みも伴わずX線による被爆もない安全な検査です。

以前は心臓の血管（冠動脈）狭窄を疑った場合は、足や腕の動脈からカテーテル（細い管）を挿入しそこから造影剤を注入して行う冠動脈造影検査が主流となっていました。近年では、CT装置の普及によりCTでの冠動脈造影検査ができるようになり、点滴の要領で腕の静脈から造影剤を注入し行う為、外来で安全に施行する事ができるようになりました。狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の検査に有用です。

《CT》



《鼻からの胃内視鏡》



従来に比べて約4mmも先端径が細くなった

「胃カメラの検査をしたいけど、苦しい（苦しそう）からやりたくない」という方は多いと思います。

当院では、その苦しさを解消する為に、鼻からの内視鏡（経鼻内視鏡）検査を導入しております。

鼻からの内視鏡は、従来の口からの内視鏡の直径が約9～10mmあるのに対して約5.9mmと、鼻にスムーズに挿入できる細さです。

内視鏡検査は「痛い！・辛い！・苦しい！」と感じている方、鼻からの内視鏡は従来の口からの内視鏡より安全で楽に検査を受ける事が可能です。

動脈硬化は自覚症状がなく進行し、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満などの疾病も要因となります。動脈硬化を放置していると、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血などを引き起こす原因となります。

この検査では、あお向けに寝た状態で両腕・両足首の血圧と脈波を測定します。時間は5分程度で、血管の柔らかさ、血管年齢、動脈硬化の程度が判定できる簡単な検査です。

《血圧脈波検査装置》



《大腸内視鏡》



近年、食生活の欧米化に伴い大腸がんの患者は激増しています。

大腸がん発見には便潜血反応検査も有効ですが、早期には潜血反応が出ない大腸がんもあります。

大腸内視鏡検査は、大腸ガンを発見する事だけではなく、大腸ポリープを切除し大腸がんを予防することや大腸がん以外の病気を調べることが可能です。

○何れの検査も予約制となります。詳しくはお電話または担当医師に問い合わせください。

西山堂病院 看護課のご紹介



私達は「真心とサービス」の基本理念のもと、「安心と信頼の医療と看護」をお受けいただける地域に密着した病院を目指しています。

《患者様のために日々努力を重ねています》

私達は、看護の専門職としてのスキルアップと患者様に安心できる看護、介護が提供できるよう、外部の研修だけではなく、院内に「教育委員会」を設置し、毎月、看護職員からの意見、要望を組み入れながら教育委員会企画の院内研修も実施しています。

10月には「※BLS2010」を実施し、5ブースに分け、胸部圧迫による心臓マッサージ、バックマスクによる換気、AEDの使い方を実際に行いました。

どんな状況においても、患者様のために冷静な判断、処置が可能なように、看護師自身の実践能力を高めるため日々努力しています。



《将来の地域医療のために》



毎年7月、8月、9月においては、近隣の高校生、中学生の看護体験を実施しています。今年は25名の参加がありました。

県北において医療現場での看護師不足もあり、医療や看護に関心を深め、進路に向けての考えを深めてもらえればと思っています。

参加学生さんからは「看護師さんが責任をもって仕事をしているのに感心しました」、「まるで家族と同じように優しく声をかけていました」、「誇りややりがいを感じる事ができる仕事だと思いました」など、たくさんの感想文をいただき、現場の看護師達の励みになっております。

《働きたい看護師さんを支援しています》

”ブランクを取りもどそう！”

「基本的な研修を行いながら、働いていた頃を思い出し、次の日から一歩踏み出してみませんか？」のフレーズのもと、看護師、准看護師の免許を持ちながら、色々な事情で看護の現場から離れている方を対象に、最近の医療、看護の情報を習得して復職の足がかりとなる潜在看護師支援研修を実施しています。

実際この研修を受講し復帰した方々も、現在、西山堂病院や西山堂慶和病院の看護現場で活躍しています。



潜在看護師支援研修は下記の通り開催しております。

当院への入職を強制するものではありませんので、興味のある方はぜひご参加ください。

●毎月第4火曜日 13:00～16:30 参加費：無料 電話 0294-72-5121

※BLS：呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命をするため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置。（一次救命処置）



✉ 医師便り

ハチ毒アレルギーについて

西山堂病院 医師 榎本 貴子 ■内科・アレルギー専門医■

<ハチ毒アナフィラキシーとは>

ハチに刺されてショック死する人口は年間20～30名とされています。ハチに刺されると刺されたところが赤く腫れたり痛みや熱感が出現しますが、2回目に刺された場合5～10%の人に、吐き気や発汗、めまい、血圧低下、声がかれたり呼吸が苦しくなったりといった全身症状がおこってきます。これがハチ毒アレルギーで、ハチ毒が原因でショック状態になる事をハチ毒アナフィラキシーといいます。

一度ハチに刺され、再度刺された事により全身症状を示した人は50～60%の確率で前よりさらに重症になる事がわかっています。また、短期間に2回刺されるとハチ毒アナフィラキシーを生じやすいと考えられています。逆に何年も刺されないでいると、全身症状が出現する確率も年を追うごとに下がってきます。ですから、なるべくハチに刺されないように気をつける事が非常に大切です。



<ハチ刺傷に対する予防と対策>

●野外に出掛ける時には黒や花柄模様は避けて白色を着用し、髪なども帽子などで覆うように心がけましょう。●芳香臭のある香水や化粧品等も、ハチを刺激するため使用しないようにしましょう。●音や振動等にも敏感で興奮を誘うため、できるだけ静かに移動しましょう。●もしハチを見かけたら顔を下向き加減に静止し、ハチが去ってから静かに退避しましょう。

ハチを追い払う(殺虫剤を含む)行動は、興奮を招くので決して行ってはいけません。

ハチ毒アナフィラキシーは、ハチに刺された後数分で起こる事があり、吐き気や発汗、めまい、じんましん等の症状が認められたら、直ちに近くの医療機関に搬送する事が望まれます。

ハチ毒アレルギーの有無を調べる方法としては、血液検査でハチ特異的IgE抗体を測定したり、皮膚テストなどの方法があります。

ハチ特異的IgE抗体陽性者や、ハチに遭遇しやすい職業に就いている人は、ショックの治療薬であるエピネフリンの携帯用注射薬「エピペン」を携帯することをお勧めします。

ハチ毒アレルギーの検査やエピペンをご希望の方は、ぜひ病院におたずねください。



ハチって必ず刺すの？

ハチといえば「刺す」と思われがちですが、実際に刺すハチは一握りでしかありません。私達がよく目にするハチの中で、人を刺すハチの種類は、主にミツバチとスズメバチ、アシナガバチです。



スズメバチ



アシナガバチ



ミツバチ

医療法人西山会 ひたちの中央クリニックのご案内

65歳以上の方は肺炎球菌ワクチン接種を！

肺炎球菌は、名前の通り顕微鏡で見ると丸い形をしています。

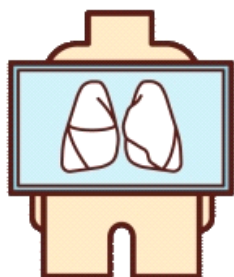
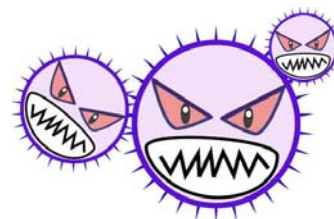
人の鼻や喉に常駐し、肺炎などの感染症の原因となる細菌です。

肺炎球菌は健康な人の鼻や喉にも見つかりますが、症状に出ない人も多く、体力が落ちている時やご高齢になって免疫機能が低下すると症状を引き起こします。

肺炎球菌は、肺炎や気管支炎などの呼吸器系感染症のほか、中耳炎、副鼻腔炎、髄膜炎、敗血症などの原因にもなります。

最近では新聞やテレビコマーシャルでも目にする事が多くなった「肺炎球菌」ですが、日本人の死因第4位の「肺炎」で亡くなる方の95%は65歳以上の高齢者で、65歳以上の高齢者においては肺炎球菌が肺炎の原因菌の第一位を占めています。

一時期は肺炎球菌による感染症は、ペニシリンなどの抗生物質の薬や医療技術の進歩によりかなり治療できるようになりましたが、近年では多くの薬剤に耐性を示す多剤耐性肺炎球菌が増えており、治療の困難な例も増え、高齢者や心臓や呼吸器に慢性疾患のある方や、腎不全、肝機能障害、糖尿病などの基礎疾患を有する方にとっては重症化しやすくなってきています。



「肺炎球菌ワクチン」は65歳以上の高齢者の肺炎の原因で最も頻度の高い「肺炎球菌」という細菌に特化した予防ワクチンです。

このワクチンには肺炎の予防とともに、肺炎球菌による「肺炎になっても軽症ですむ」、「抗生物質が効きやすい」などの効果もあります。(ただし、肺炎球菌以外の細菌による肺炎の予防効果はありません)

また、インフルエンザワクチンとの併用が予防効果を更に高めるとされており、現在では公的助成金による補助も整備されてきましたので、65歳以上になったら、ぜひ肺炎球菌ワクチンの接種を受けてみてはいかがでしょうか。

※接種ご希望の方は各市町村の保健センターで接種券の発行を受けてください。なお、接種については予約制となりますので、お電話または窓口でお問い合わせください。



医療法人 貞心会 西山堂病院

茨城県常陸太田市木崎二町931-2

電話 0294 (72) 5121
Fax 0294 (72) 5124
Email : hospital@mito.ne.jp



医療法人 西山会 ひたちの中央クリニック

茨城県常陸太田市木崎二町931-6

電話 0294 (72) 5125
Fax 0294 (72) 8492